

試験種類 (どちらかに○をつけてください)	科目	学部	学科	専攻・コース
公募制・卒業生子女	小論文	家政学部	児童学科	—
受験番号	氏名			採点

問1 図1は、内閣府および子ども家庭庁が平成21年度から毎年実施している「青少年のインターネット利用環境実態調査」から、平成26年度、平成29年度、令和2年度、令和5年度のインターネット利用率及びインターネット利用の際のスマートフォン利用率を、学校段階別に示したものである。各時期における利用状況の変化の特徴を、あなた自身やあなたの周囲の人々の利用実態を振り返りながら説明しなさい。(400字以内)

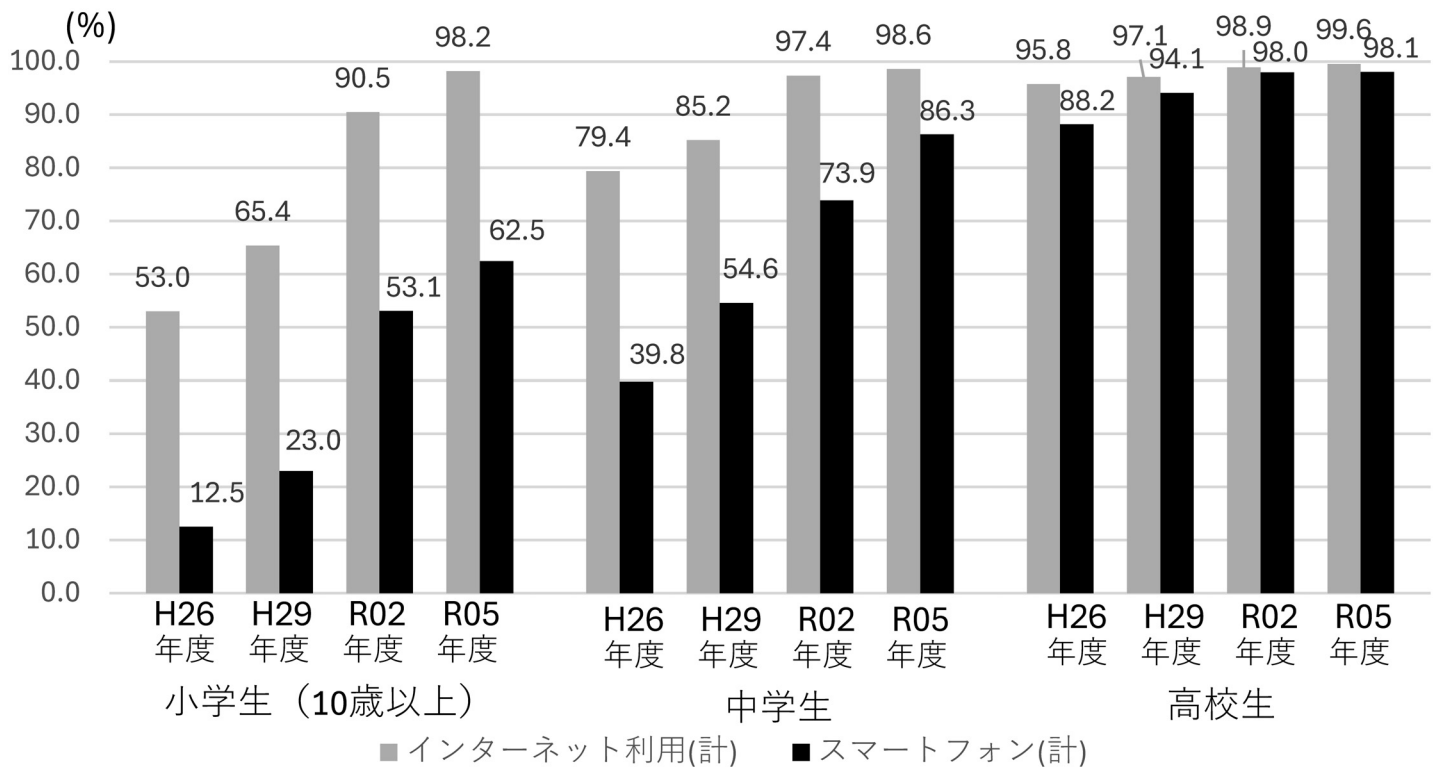


図1 青少年のインターネット利用率の経年比較

(出典：子ども家庭庁 2024 令和5年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」調査結果(概要)、内閣府 2019 平成30年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」調査結果(概要)より作成)

(注1) 回答数は次の通り。

- 令和5年度：小学生 (n=953)、中学生 (n=1259)、高校生 (n=1048)
- 令和2年度：小学生 (n=1100)、中学生 (n=1407)、高校生 (n=1083)
- 平成29年度：小学生 (n=1016)、中学生 (n=1309)、高校生 (n=942)
- 平成26年度：小学生 (n=1080)、中学生 (n=1329)、高校生 (n=1007)

(注2) 令和5年度は、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「契約していないスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。平成26年度、29年度、令和2年度は、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「契約切れスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。

試験種類 (どちらかに○をつけてください)	科目	学部	学科	専攻・コース
公募制・卒業生子女	小論文	家政学部	児童学科	—
受験番号	氏 名			採 点

問2 枠内の文章を読み、ここでいう「遊び」とはどのようなものであると考えられるか、あなた自身の経験やこれまで学んできたことなどを踏まえて説明しなさい。(600字以内)

著作者より二次利用の許諾が得られないため掲載を見合わせております。

(出典) アンデシュ・ハンセン (著) 久山葉子 (訳) 2020 スマホ脳 新潮新書 pp.176-180.

